

まち・ひと・しごと創生

# 小浜市総合戦略

有識者会議 令和元年度評価結果



令和2年3月

企画部 人口増未来創造課



## 1. 計画期間の延長について

平成27年度に策定した「まち・ひと・しごと創生 小浜市総合戦略」は、本市の課題と  
である『人口減少への対応』に特化した5ヵ年の行動計画で、第5次小浜市総合計画の実  
現に向けた取り組みを取りまとめたものです。

本市では、次期小浜市総合戦略を、令和3年4月からスタートする第6次小浜市総合計  
画へ統合し一体的に策定することで、より実効性の高く、市民に分かりやすい計画へ再編  
します。

そのため、本年が最終年度である第1期総合戦略の計画期間を1年間延長するとともに、  
令和2年度末における新たな重要業績評価指標(KPI<sup>1</sup>)を設定します。

## 2. 評価について

「まち・ひと・しごと創生 小浜市総合戦略」では、4つの基本目標に基づく各取組み  
に対し、令和元年度を目標年次とした数値目標や重要業績評価指標(KPI)を設定してお  
り、各年度末に進捗状況の評価し、目標や指標の達成に向けた事業推進につなげていくこ  
ととしています。

## 3. 評価基準について

評価シートにおける評価基準は「まち・ひと・しごと創生 小浜市総合戦略」で定めた  
令和元年度におけるKPIに対しての到達状況を以下のとおり4段階(A～D)で示してい  
ます。

- |                                     |
|-------------------------------------|
| A…令和元年度の目標値に到達している。(達成)             |
| B…令和元年度の目標値に到達していないが、数値が上昇している。(順調) |
| C…基準値(策定時)と数値が同一である。(停滞)            |
| D…基準値より数値が下降している。(縮小)               |

<sup>1</sup>KPI(重要業績評価指標)…Key Performance Indicatorsの略。事業ごとの進捗状況を検証するために設定する指標。

#### 4. 令和元年度 KPI の達成状況について

平成 27 年度に策定した『まち・ひと・しごと小浜市総合戦略』で設定した全 59 項目について、令和 2 年 3 月末（推計含む）を基準日として調査しました。

戦略策定時の基準値からの数値の推移について、達成段階により A～D の記号で判定した結果、A 判定（令和元年度の目標値到達）が 33.9%、B 判定（基準値より数値が上昇）が 37.3%、合計で 70%以上（昨年度比較△1.6 ポイント）の項目が目標達成に向けて順調に推移しています。

一方で、D 判定（基準値より数値が下降）の項目が 11.9%あるなど、進捗が厳しい項目があります。

また、第 6 次小浜市総合計画策定に向けて実施した市民アンケートでは、学校教育の充実・景観・自然環境に対する市民満足度は、いずれも未達成となっています。

（下表のとおり）

判定記号	項目数	構成比	参考) 前年構成比
A (達成)	20	33.9%	27.1%
B (順調)	22	37.3%	45.7%
C (停滞)	8	13.6%	6.8%
D (縮小)	7	11.9%	10.2%
— (判定なし)	2	3.3%	10.2%

判定記号の説明

- A…令和元年度の目標値到達（達成）
- B…目標値に達成していないが、数値が上昇（順調）
- C…基準値と数値が同一（停滞）
- D…基準値より数値が下降（縮小）

## 5. 有識者会議における委員からの意見等

令和2年3月24日に開催した『まち・ひと・しごと小浜市総合戦略 有識者会議』において意見交換した概要は次のとおりです。

### 1) 指標 No. 24 外国人観光客宿泊数について

・市内施設利用・宿泊者数が減少している中、外国人観光宿泊者数が伸びている。インバウンド観光客が増加していることはよいが、一方で、特に子を持つ世代（PTA）からは、民泊増加に伴う治安・ゴミ・騒音・マナーといった不安が出ている。民泊に関するデータはつかんでいるのか、またこれらの市民の不安に対する対応もあわせて取り組んでいただきたい。

→本市では、観光客入込数調査において、月別、宿泊所別、国別の入込を把握している。一方で、民泊増加に伴う治安等に関する市民の不安への具体的な取組みは、今後必要であると認識している。

### 2) 指標 No. 36

・市民自ら企画し実践する事業の提案について

いいとこ小浜協働推進事業の公開プレゼンにおいては、事業申請者等関係者しか参加していない印象であった。協働のまちづくりを進めるために、市民の参加者（観客）を増やすための工夫が必要。また、申請枠に学生枠を設けることで、学生と地域住民の交流・連携が生まれると考える。

### 3) 指標 No. 40 義務教育の充実に対する満足度

・教育については、ふるさと MIRAI 事業など、取組みに力を入れていると感じるが、評価結果が D 判定となっている。評価数値は市民アンケートに基づいているが、対象とする年齢層が広く、保護者層の満足度が図れない。次期総合計画では、評価指標の見直しが必要ではないか。

→保護者（教育関係者）へのアンケート実施など、施策に対する満足度がより正確に分析できるような方法について検討する。また、次期総合戦略における指標の設定、基準値の数値についても再考させていただく。

### 4) 次期総合戦略における重要業績評価指標（KPI）について

・時期小浜市総合戦略の重要業績評価指標（KPI）は、これまでの5年間の指標評価を踏まえ、より分かりやすく、市の人口減少対策に関する施策効果を客観的に評価できるよう、目標値を設定する必要がある。また、年度ごとの評価の基準となる基準値についても、慎重に設定いただきたい。

その他、KPIごとの意見については、別途意見シートにより聴取しました。

（下記聴取結果は6. 評価シート内にも記載）

## 6. 評価結果の一覧

基本目標ごとのKPIの評価結果一覧については、下記に掲載のとおりです。

なお、各指標の評価（A～D）結果は、平成27年度の基準値をもとに設定したR元年度の目標数値に対する実績値を評価したものであり、施策内容自体を評価するものではありません。

### まち・ひと・しごと創生 小浜市総合戦略 令和2年度評価結果一覧表

#### 基本目標（1）産業の振興、安定した雇用の創出による働きやすいまち

No.	重要業績評価指標（KPI）	基準値	R元目標値	R元現状値	評価	昨年
基本的方向①企業誘致および市内企業の育成による雇用創出						
1	新規企業誘致数（5年間）	4社 <small>H22～26 合計値</small>	2社	1社(3)	A	B
2	産業団地整備状況 (市が保有する産業団地の分譲面積)	1.8ha (H27)	3.5ha	0ha(0)	C	C
3	空き店舗等を活用する事業所数	—	5件	2件(8件)	A	A
4	新規学卒者の地元就職率	56.1% (H26)	80%	73.0%	B	B
5	育児休業取得率→男性10%	47.0% (H26)	67%	64.3%	A	B
基本的方向②農林水産業の成長産業化と六次産業化による雇用創出・新たなブランドの育成						
6	担い手への農地集積 (本市の農地面積のうち、認定農業者や集落営農組織の農地面積が占める割合)	38.5% (H27)	60%	51.9%	B	B
7	新規就農に向けた研修者数（5年間）	—	15人	3人(7)	B	C
8	多面的機能支払の 農振農用地面積カバー率	—	100%	85.9%	B	B
9	有害鳥獣の個体数調整（シカ） (1年間の有害鳥獣の捕獲数)	2,184頭 <small>(H27)管理規定に基づき設定</small>	2,184頭	ニホンジカ 1,060頭	D	D
10	漁業士の人数 (地域の中核的存在となる「青年漁業士」、 後継者の育成に指導的役割を果たしている「指導漁業士」の人数)	8人 (H27)	10人	6人	D	D
11	漁村の体験交流施設における 地区外交流人口 (ブルーパーク阿納の1年間の利用者数)	3,500人 (H27)	4,700人	5,935人	A	A
12	養殖における新規魚種の導入	—	2魚種	2魚種	A	A
13	六次産業化および新規特産品開発 取り組み事例件数（5年間）	—	15件	2件(19)	A	A
基本的方向③民間資源を活用した地場産業の活性化						
14	民間資源を活用した企業数（5年間）	—	2社	1社(4)	A	A

## 基本目標（２）定住人口の維持、交流人口の拡大による出会いのあるまち

No.	重要業績評価指標（KPI）	基準値	R元目標値	R元現状値	評価	昨年
基本的方向①定住・移住の推進						
15	インターネット接続世帯率 フリーWi-Fiスポット数/H30～	59.7% (H27) 26 か所	64% 32 か所	29 か所	B	A
16	UIJターンスイトへのアクセス数	—	12,000 件	21,000 件	A	A
17	お試し体験住宅事業を利用して定住に結びついた件数	—	3 件	4 件(6)	A	B
18	小浜市住まい支援事業の利用件数 (5年間)	—	30 件	11 件(34)	A	B
基本的方向②歴史・文化・食を活かした交流人口の拡大						
19	観光交流人口 (市内の観光施設等に訪れた1年間の観光客数)	167 万人 (H27)	200 万人	189 万人	B	B
20	施設の宿泊・利用者数 (市内の宿泊施設の1年間の宿泊・利用者数)	350,000 人 (H27)	500,000 人	366,300 人	C	B
21	観光消費額 (宿泊費、交通費、土産代、入場料等の1年間の合計額)	100 億円 (H26)	140 億円	109 億円	B	B
22	食文化館来館者数	240,000 人 (H27)	347,000 人	189,000 人	D	D
23	地域おこし協力隊員数 (5年間)	—	15 人	2 人(14)	B	B
24	外国人観光客宿泊者数	635 人 (H26)	1,500 人	4,675 人	A	B
25	新規観光業者数 (5年間)	—	5 社	2 社(4)	B	B
26	秘伝めぐりバスツアー集客人数	—	600 人	—	—	—
27	女性落語家コンテスト参加人数	—	75 人	96 名	A	A
28	国際交流関係イベントへの参加者数 (市内で活躍する国際交流関係グループが実施するイベントへの1年間の参加者数)	1,100 人 (H27)	1,100 人	1,641 人	A	A
29	教育旅行受入れ人数 (ブルーパーク阿納の1年間の利用者数)	3,500 人 (H27)	4,700 人	5,935 人	A	A
<u>27</u>	女性落語家コンテスト参加人数 (再掲)	—	75 人	96 名	A	A
<u>26</u>	秘伝めぐりバスツアー集客人数 (再掲)	—	600 人	—	—	—
30	中心市街地の歩行者・自転車等通行量 (中心市街地6地点における平日1日の歩行者・自転車通行量)	4,500 人 (H27)	4,600 人	3,767 人	D	D
31	中心市街地の観光交流人口 (中心市街地のホテル等宿泊者数と観光施設利用者の1年間の合計)	120,000 人 (H27)	350,000 人	256,060 人	B	B

## 基本目標（３）若い世代の希望を実現し、次代を担う人を育むまち

No.	重要業績評価指標（KPI）	基準値	R元目標値	R元現状値	評価	昨年
基本的方向①子育て支援						
5	育児休業取得率（再掲）	47.0% (H26)	67%	64.3%	A	B
32	地域子育て支援拠点事業利用者数	14,134人 (H27)	19,693人	19,090人	B	B
33	小浜の子育て関連『まとめサイト』へのアクセス件数	—	25,000件 H3→35,000件	50,000件	A	A
基本的方向②婚活支援						
34	生涯未婚率 (45歳～49歳の未婚率と50歳～54歳の未婚率の平均値で、50歳時未婚率を表す指標) →婚活支援事業での成婚数5組（延べ数）	男性：21.0% 女性：5.6% (H27)	成婚5組 (延べ数)	3組 (通算11組)	A	B
基本的方向③妊娠・出産支援						
35	不妊治療費助成者数	28人 (H26)	30人	40人	A	A

## 基本目標（４）誇りと愛着を持ち、安心して住み続けられるまち

No.	重要業績評価指標（KPI）	基準値	R元目標値	R元現状値	評価	昨年
基本的方向①協働のまちづくりの推進						
36	市民自ら企画し実践する事業の提案件数	10件 (H26)	14件	9件	C	C
37	まちづくり協定地区数（5年間）	5地区	12地区	12地区	A	A
38	自主防災組織の結成団体数 (自主防災組織の登録団体総数)	82団体 (H27)	148団体	115団体 (見込)	B	B
39	避難行動要支援者の個別支援計画策定割合	18.0%	80.0%	55.8%	B	B
基本的方向②郷土愛を育む教育の推進						
40	義務教育の充実に対する満足度 (市民意識調査において学校教育に対して「満足」「まあ満足」と回答した人の割合)	37.3% (H27)	47.0%	33.6%	D	—
41	学級・講座の受講者数 (各公民館で開催した各種学級・講座の1年間の受講者数)	3,021人 (H26)	3,000人	2,800人	D	D
基本的方向③農山漁村および中心市街地の活性化						
42	本市らしい景観がまもられていると感じている市民の割合 (市民意識調査において本市らしい景観がまもられていると感じている市民の割合)	36.0% (H27)	47%	37.4%	B	—

43	自然環境がまもられていると感じている市民の割合 (市民意識調査において自然環境がまもられていると感じている市民の割合)	47.0% (H27)	57%	45.0%	D	—
基本的方向④食文化の発信による食のまちづくりの推進						
44	キッズ・キッチン（基礎編）の参加者数	176人 (H26)	216人	216人	B	B
45	市外からのキッズ・キッチン（拡大編）の受け入れ		140人	89人	C	B
46	食文化館サイトへのアクセス数 →SNS（フェイスブック）のリーチ数	—	10,000件 →1,000件	975件	B	—
基本的方向⑤高齢者福祉体制の充実						
47	小浜市の健康寿命年齢 (心身ともに自立し、健康的に生活できる寿命の平均年齢)	男性：78.0歳 (H25) 女性：82.6歳 (H25)	男性：79.3歳 女性：83.1歳	男性：78.5歳 女性：82.2歳	B	B
48	特定健康診査受診率	34.7% (H26 推計値)	55.0%	36.2% (H29)	B	B
49	がん検診受診率	38.0% (H25)	48.3%	42.7% (H28)	B	B
50	要介護認定率 (第1号被保険者に占める要介護認定者の割合)	19.4% (H27)	<del>21.1%</del>	18.1%	—	—
51	認知症サポーター数啓発	1,900人 (H27)	4,000人	4,900人	A	A
52	施設入所率 (要介護認定者に占める施設入所者の割合)	30.5% (H27)	26.5%	27.1%	B	B
53	ふれあいサロン参加者数	10,200人 (H27)	10,800人	10,200人	C	B
54	ふれあいサロン開催区	—	117区	100区	C	C
基本的方向⑥都市機能の再整備と地域交通の充実						
55	JR小浜線乗車人員数 (一日あたりの平均乗車人員数(西敦賀駅～青郷駅))	4,000人 (H26)	4,000人	4,000人	C	D
56	あいあいバスの乗車人数	90,000人 (H26)	90,000人	86,000人	B	D
57	小浜市立地適正化計画の策定	—	策定済	策定済	A	A
基本的方向⑦広域連携の推進						
58	広域連合の設立	—	設立	調整中	C	C
59	広域連合による連携事務		5事業(事務 処理開始初年度)	1事業(3)	B	B

## 7. 評価シート

K P I ごとの評価状況については、評価シート（別冊）のとおりです。

## 8. 総合戦略の見直しおよび令和2年度重要業績評価指標の設定

総合戦略（K P I 含む）については、達成状況や有識者会議の意見などをもとに、目標やK P Iなどを必要に応じて改定を行います。（P D C Aサイクルの実施）

設定したK P Iが現状にあっていない場合やより相応しい数値設定が発現した場合等は、おおむね下記の手順により総合戦略の見直しを行うものとします。

- ①有識者会議の意見をふまえ、改定必要部分の洗い出し（事務局）
- ②改定案の検討、作成（担当課）
- ③改定案の調整（事務局）
- ④改定案の説明、意見集約、調整（有識者会議）
- ⑤改定案の決定（庁議）
- ⑥改定案の公表（市公式HP）

【主な見直し点】 計画期間延長に伴うK P Iの見直し

### 基本目標（1）産業の振興、安定した雇用の創出による働きやすいまち

No.	重要業績評価指標（K P I）	R元目標値	R2目標値	見直し状況
基本的方向①企業誘致および市内企業の育成による雇用創出				
1	新規企業誘致数（5年間）	2社	4社（延べ数）	上方修正（目標数値達成につき）
2	産業団地整備状況 （市が保有する産業団地の分譲面積）	3.5ha	3.5ha	維持（目標値未達成につき）
3	空き店舗等を活用する事業所数	5件	10件（延べ数）	上方修正（目標数値達成につき）
4	新規学卒者の地元就職率	80%	80%	維持（目標値未達成につき）
5	育児休業取得率 男性 10% 女性 100%	67%	男性 10% 女性 100%	全体の取得率では、実情把握が困難なため、目標値を再設定。
基本的方向②農林水産業の成長産業化と六次産業化による雇用創出・新たなブランドの育成				
6	担い手への農地集積（認定農業者や集落営農組織の農地面積が占める割合）	60%	60%	維持（目標値未達成につき）
7	新規就農に向けた研修者数（5年間）	15人	10人（延べ数）	下方修正（現目標値達成困難につき）
8	多面的機能支払の 農振農用地面積カバー率	100%	100%	維持（目標値未達成につき）
9	有害鳥獣の個体数調整（シカ） （1年間の有害鳥獣の捕獲数）	2,184頭	1,200頭	R2嶺南地域鳥獣被害防止計画に基づく目標値
10	漁業士の人数 （「青年漁業士」、「指導漁業士」の人数）	10人	10人（延べ数）	維持（目標値未達成につき）
11	漁村の体験交流施設における地区 外交流人口（ブルーパーク阿納の利用者数）	4,700人	6,000人	上方修正（目標数値達成につき）
12	養殖における新規魚種の導入	2魚種	2魚種（延べ数）	維持（目標値未達成につき）
13	六次産業化および新規特産品開発 取り組み事例件数（5年間）	15件	21件（延べ数）	上方修正（目標数値達成につき）
基本的方向③民間資源を活用した地場産業の活性化				
14	民間資源を活用した企業数（5年間）	2社	5社（延べ数）	上方修正（目標数値達成につき）

## 基本目標（２）定住人口の維持、交流人口の拡大による出会いのあるまち

No.	重要業績評価指標（KPI）	R元目標値	R2目標値	見直し状況
基本的方向①定住・移住の推進				
15	フリーWi-Fiスポット数	32か所	-	支援事業の終了に伴い、目標値は設定しない
16	UIJターンサイトへのアクセス数	12,000件	22,000件	上方修正（目標数値達成につき）
17	お試し体験住宅事業を利用して定住に結びついた件数	3件	7件（延べ数）	上方修正（目標数値達成につき）
18	小浜市住まい支援事業の利用件数	30件	40件（延べ数）	上方修正（目標数値達成につき）
基本的方向②歴史・文化・食を活かした交流人口の拡大				
19	観光交流人口 （市内の観光施設等に訪れた1年間の観光客数）	200万人	200万人	維持（目標値未達成につき）
20	施設の宿泊・利用者数 （市内の宿泊施設の1年間の宿泊・利用者数）	50万人	40万人	下方修正（現目標値達成困難につき）
21	観光消費額（宿泊費、交通費、土産代、入場料等の1年間の合計額）	140億円	120億円	下方修正（現目標値達成困難につき）
22	食文化館来館者数	34.7万人	19万人	下方修正（現目標値達成困難につき）
23	地域おこし協力隊員数	15人	17名（延べ数）	上方修正（目標数値達成につき）
24	外国人観光客宿泊者数	1,500人	4,700人	上方修正（目標数値達成につき）
25	新規観光業者数	5社	6社（延べ数）	上方修正（目標数値達成につき）
26	秘仏めぐりバスツアー集客人数	600人	-	事業の終了に伴い、目標値は設定しない
27	女性落語家コンテスト参加人数	75人	100人	上方修正（目標数値達成につき）
28	国際交流関係イベントへの参加者数 （国際交流関係グループが実施するイベントへの1年間の参加者数）	1,100人	1,800人	上方修正（目標数値達成につき）
29	教育旅行受入れ人数 （ブルーパーク阿納の1年間の利用者数）	4,700人	6,000人	上方修正（目標数値達成につき）
30	中心市街地の歩行者・自転車等通行量 （中心市街地6地点における平日1日の歩行者・自転車通行量）	4,600人	4,600人	維持（目標値未達成につき）
31	中心市街地の観光交流人口 （中心市街地のホテル等宿泊者数と観光施設利用者の1年間の合計）	35万人	30万人	下方修正（現目標値達成困難につき）

## 基本目標（３）若い世代の希望を実現し、次代を担う人を育むまち

No.	重要業績評価指標（KPI）	R元目標値	R2目標値	R元現状値
基本的方向①子育て支援				
32	地域子育て支援拠点事業利用者数	19,693人	19,150人	下方修正（現目標値達成困難につき）
33	小浜の子育て関連『まとめサイト』へのアクセス件数	35,000件	50,000件	上方修正（目標数値達成につき）
基本的方向②婚活支援				
34	婚活支援事業での成婚数5組	成婚5組 （延べ数）	成婚14組 （延べ数）	上方修正（目標数値達成につき）
基本的方向③妊娠・出産支援				
35	不妊治療費助成者数	30人	40人	上方修正（目標数値達成につき）

## 基本目標（４）誇りと愛着を持ち、安心して住み続けられるまち

No.	重要業績評価指標（KPI）	R元目標値	R2目標値	R元現状値
<b>基本的方向① 協働のまちづくりの推進</b>				
36	市民自ら企画し実践する事業の提案件数	14 件	10 件	下方修正（現目標値達成困難につき）
37	まちづくり協定地区数	12 地区	-	全地区での設置目標を達成したため、新たな目標値は設置しない
38	自主防災組織の結成団体数 （自主防災組織の登録団体総数）	148 団体	148 団体	維持（目標値未達成につき）
39	避難行動要支援者の個別支援計画策定割合	80.0%	80.0%	維持（目標値未達成につき）
<b>基本的方向② 郷土愛を育む教育の推進</b>				
40	義務教育の充実に対する満足度 （市民意識調査において学校教育に対して「満足」「まあ満足」と回答した人の割合）	47.0%	—	住民アンケート実施予定がないため、目標値は設定しない *他の方法で満足度を図る調査等について検討
41	学級・講座の受講者数 （各公民館で開催した各種学級・講座の1年間の受講者数）	3,000 人	3,000 人	維持（目標値未達成につき）
<b>基本的方向③ 農山漁村および中心市街地の活性化</b>				
42	本市らしい景観がまもられていると感じている市民の割合 （市民意識調査において本市らしい景観がまもられていると感じている市民の割合）	47%	—	住民アンケート実施予定がないため、目標値は設定しない
43	自然環境がまもられていると感じている市民の割合 （市民意識調査において自然環境がまもられていると感じている市民の割合）	57%	—	住民アンケート実施予定がないため、目標値は設定しない
<b>基本的方向④ 食文化の発信による食のまちづくりの推進</b>				
44	キッズ・キッチン（基礎編）の参加者数	216 人	233 人	上方修正 （対象児童数を目標値に設定）
45	市外からのキッズ・キッチン（拡大篇）の受け入れ	140 人	68 人	事業一新予定のため、目標値を再設定
46	食文化館 SNS（フェイスブック）のリーチ数	1,000 件	1,100 人	上方修正（目標数値達成につき）
<b>基本的方向⑤ 高齢者福祉体制の充実</b>				
47	小浜市の健康寿命年齢（心身ともに自立し、健康的に生活できる寿命の平均年齢）	男性:79.3 歳 女性:83.1 歳		維持（目標値未達成につき）
48	特定健康診査受診率	55.0%	51%	下方修正（現目標値達成困難につき）
49	がん検診受診率	48.3%	42.7%	下方修正（現目標値達成困難につき）
50	要介護認定率（第1号被保険者に占める要介護認定者の割合）	—	—	要介護認定率は、目標数値として適さないため、新たな目標値は設定しない
51	認知症サポーター数啓発	4,000 人	5,000 人	上方修正（目標数値達成につき）
52	施設入所率（要介護認定者に占める施設入所者の割合）	26.5%	26.5%	維持（目標値未達成につき）
53	ふれあいサロン参加者数	10,800 人	10,600 人	下方修正（現目標値達成困難につき）
54	ふれあいサロン開催区	117 区	110 区	下方修正（現目標値達成困難につき）
<b>基本的方向⑥ 都市機能の再整備と地域交通の充実</b>				

55	J R小浜線乗車人員数（一日あたりの平均乗車人員数（西敦賀駅～青郷駅））	4,000人	4,000人	維持（現状維持を目標値とする）
56	あいあいバスの乗車人数	90,000人	90,000人	維持（目標値未達成につき）
57	小浜市立地適正化計画の策定	策定済	—	策定済のため、新たな目標値は設定しない
<b>基本的方向⑦ 広域連携の推進</b>				
58	広域連合の設立	設立	設立	調整中（目標値未達成につき）
59	広域連合による連携事務	5事業（事務処理開始初年度）	5事業	調整中（目標値未達成につき）

- ・内容修正（時点修正）

基本的方向⑥  
都市機能の再整備と地域交通の充実

#### P. 43 2) 地域交通の充実

##### ① 広域鉄道網の整備

- ・北陸新幹線については、平成29年3月に決定した小浜・京都ルートにより早期着工されるよう、積極的な要望を展開するとともに、2022年度に予定されている北陸新幹線の敦賀開業効果を最大限に得るため、具体的な行動計画を定めた「御食国若狭おばま北陸新幹線敦賀開業アクションプラン」の他、県が策定した「福井県高速交通開通アクション・プラン」および策定予定の嶺南地域公共交通網形成計画との整合性を図りながら、駅前周辺整備を含めた受入れ環境を整備します。

#### 重点的に取り組む事業

P. 46 「産業の振興、安定した雇用の創出による働きやすいまち」関連

事業名	空き工場等活用事業、まちなか等活力支援事業
事業の目的	市内に点在する空き店舗、空き工場等を利用した事業者や起業家に対し必要な支援措置を講じることにより、市内における雇用の場の創出と産業の振興を図ることを目的とします。
事業の概要	<p>○事業対象</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市内の事業者、新規に事業所を開設する事業者</li> </ul> <p>○事業内容</p> <p>空き工場等活用事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業者が未使用の工場等を活用するために要した用地取得や改装経費等に対し補助</li> <li>・対象経費の2分の1以内 (雇用要件(等)により上限15,000千円～30,000千円)</li> </ul>

	<p>まちなか等活力支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新規事業所開設事業者が市内の空き店舗等を利用した場合の改装費、賃借料に対し補助</li> <li>・対象経費の2分の1以内 (雇用要件等により上限300千円～1,500千円)</li> </ul> <p>特定エリア空き店舗対策事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・JR小浜駅前から海の駅までのルート上の空き店舗への出店費用の一部を補助</li> <li>・対象経費の2分の1以内</li> </ul>
期待される効果	<p>新たな雇用の機会の増加により、地元での就職者が増加することが期待されます。</p> <p>空き店舗、空き工場等の有効活用により、まちなかでの遊休地が減少することが期待されます。</p>
K P I	①空き店舗等を活用する事業所数：3件

P.47 「定住人口の維持、交流人口の拡大による出会いのあるまち」関連  
追加

事業名	新まちづくり構想および基本計画策定事業
事業の目的	北陸新幹線全線開業による交流人口の拡大や新たな企業進出等に向け、新幹線を最大限活用した新たなまちづくり構想を策定する。
事業の概要	<p>○事業内容</p> <p>庁内ワーキンググループにて作成した新まちづくり構想（素案）について、市民や有識者から構成する策定委員会の審議を経て、構想を策定する。</p> <p>併せて、市民と行政が新幹線を活かしたまちづくりの方向性を共有し、機運を醸成するため、講演や講座等を開催し、市民への浸透を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新まちづくり構想策定委員会の開催</li> <li>・新幹線講座、シンポジウム</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新幹線市民提案講座、パブリックコメント</li> </ul> <p>関連事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・御食国若狭おぼま北陸新幹線敦賀開業アクションプラン</li> <li>・福井県高速交通開通アクション・プログラム</li> <li>・嶺南地域公共交通網形成計画</li> </ul>
期待される効果	北陸新幹線全線開業に向け、新しいまちづくりの方向性（指針）を示すことで、行政、市民、企業、団体が協働し、新しいまちを創りあげていく。
KPI	—

- ・その他、KPI 設定変更、機構改革等に伴う担当課の変更ならびに事業名の変更

## ○小浜市まち・ひと・しごと創生有識者会議委員名簿

No.	所 属 等	氏 名
1	市議会議員	西本 清司
2	市議会議員	藤田 靖人
3	仁愛女子短期大学	内山 秀樹 (議長)
4	福井県立大学	江川 誠一
5	市区長連合会	桂田 定樹
6	小浜商工会議所	平野 泰之
7	Wakasa Agri21	山本 聡
8	市漁村青壮年協議会	河原 正和
9	若狭おばま観光協会	浅野 麻由美
10	市社会福祉協議会	渡辺 一弘
11	市PTA連合会	上田 哲也
12	若狭東高等学校	小野 浩亨
13	小浜公共職業安定所	筑紫 善輝
14	地域おこし協力隊	相澤 弘美

(敬称略 順不同)